

■司会 大島 まな〈福岡県〉 九州女子短期大学助教授
 松村 義弥〈長崎県〉 長崎県教育委員会生涯学習課指導主事

5.16

1. 子どもと学ぶ・年長者の「折尾東尋常小学校」 9:00～9:25

半田百合枝〈福岡県〉 元北九州市立折尾公民館長・前田市民福祉センター館長
 年長者が生きがいを持ち、学習活動や世代間交流などの活動を通して地域社会に積極的に参加し、健康で楽しく生き生きと暮らせることを目指して、公民館と市民福祉センターが主催して4ヵ月間で全12回の学習プログラムを実施した。小学校の余裕教室を利用、年長者・小学生・先生のそれぞれにメリットがあるように工夫した。

2. 市政に女性の発想を！ 9:25～9:50

－佐賀なまちラブコール「アイもしりたかコイも話したか」－

御厨ルミ子〈佐賀県〉 佐賀商工会議所婦人会理事
 商工会議所婦人会が市政に女性の意見を取り入れてもらおうと、行政との意見交換の場を開いた。平成10年2月に第1回目を実施し、2回、3回と続いている。行政の取り組みを説明してもらい、やわらかい雰囲気の中で意見を交換している。女性に対する認識が改まった手ごたえがあり、会員も町づくりに目覚めてきた。

～ ティータイム ～

9:50～10:25

3. ユイマールの心で地域づくり 10:25～10:50

－地域の連携と活性化の試み－

宮里 啓子〈沖縄県〉 浦添市立中央公民館社会教育指導員
 ユイマールとは“助け合い”のこと。平成6年、婦人会創立50周年を3年後に控えて、女性の手で地域を活性化しようと活動を始める。子ども達による地域の「名人さん探し」、おばあちゃんから学ぶ「ゆし豆腐作り」、三世代で交流する「グランドゴルフ大会」など、地域を知り、愛し、誇れる人材を育成するために、地域団体の連携を図りながら、子どもから老人までを巻き込んだ活動について発表する。

4. 「輝くちくほうブランド」 10:50～11:15

－女性の歴史に学ぶエンパワーメント－

豊福 眸子〈福岡県〉 ちくほう女性会議広報担当
 旧産炭地のエネルギー革命以後の暗いイメージを払拭して、明るく住みよい町づくりをと筑豊25市町村の女性が集う。地位向上と男女共同参画による「輝くちくほう」を目指して、女性の登用調査や広報紙の発行、地域活動等に取り組み、一年間の総仕上げとして「遠賀川女性サミット」を実施して3年になる。文部省の女性の社会参加支援特別推進事業の委嘱も受けて推進することができた活動の一端を報告する。

5. 総括討論 11:15～11:40